

2026年度

静岡大学

# オンライン授業の受講方法

1. オンライン授業について
2. 授業の教材・課題の確認：学務情報システム「連絡通知」の利用
3. レポート・小テストの提出：学務情報システム「課題・アンケート提出」の利用
4. 授業における意見交換および質疑応答：  
学務情報システム「コミュニケーション掲示板」の利用
5. オンライン授業の実際：「数理・データサイエンス入門」の受講案内

2026年4月



国立大学法人

静岡大学 大学教育センター

# 授業開始日までに必要な手続きについて **重要**

※対面授業でも必要となります

授業開始日前までに、以下2つの作業を必ず終わらせてください。

## 1.「Microsoft365※1」へのサインイン

※1 Word、Excel、OneDriveなど授業や課題で必要となる複数のサービスが利用可能

Microsoft365の詳細は下記URLより情報基盤センターWEBサイトをご確認ください。

学生向け：Microsoft 365 の利用について  
[https://www.cii.shizuoka.ac.jp/?page\\_id=2222](https://www.cii.shizuoka.ac.jp/?page_id=2222)



## 2.「学務情報システム※2」へのログイン

※2 大学からの連絡の受取り、履修登録、成績通知等に利用

### ステップ 0 用意するもの

#### 1 アカウント通知書※3 (静岡大学情報基盤サービスご利用のための大切な情報)

※3 各学部のガイダンス等で配付されます

#### 2 パソコン

#### 3 スマートフォン

学務情報システムはMicrosoft365の認証機能を利用するため、先にMicrosoft365の設定を完了してください。

### ステップ 1 Microsoft365へのサインイン

#### 1 サインインをするためには2要素認証※4の設定が必要となります。

スマートフォンとパソコンを用意のうえ、下記URLより資料 (Microsoft365 2要素認証初期設定マニュアル) を参照しながら、以下5つの作業を行ってください。

- ①アプリのインストール
- ②Authenticatorにアカウントを追加
- ③パスコード認証
- ④アプリパスワードの設定
- ⑤電話番号の登録

Microsoft365 2要素認証 設定案内サイト <https://www.shizuoka.ac.jp/365>



※4 2要素認証とは、サインインをIDとパスワード(知っているもの)の1要素だけではなく、個人の携帯端末(持っているもの)を2要素目として確認し、個人認証の強化を図る仕組みです。第三者の不正アクセスのリスクを低減させることができます。

2 上記1の2要素認証が完了した後に、下記URLにアクセスし、「アカウント通知書」に記載されている「Microsoft365アカウント(大学アカウント)」と「パスワード」によりサインインし、Word、Excel、OneDriveなどが使用可能であるか確認してください。

Microsoft365サインインページ <https://office.com/>



※任意のメールアドレスで作成可能なMicrosoftアカウント(個人アカウント)では、本学が提供するMicrosoft365のサービスが利用できませんのでご注意ください。

※Windowsパソコンの場合、初期セットアップ時等にMicrosoftアカウントの登録を求められることがありますが、大学アカウントではなく個人アカウントを登録してください。大学アカウントを登録した場合、卒業等で本学を離れた時に、Windowsへサインインできなくなる可能性があります。

## ステップ 2 学務情報システムへのログインとメールアドレス等の登録

1 下記URLにアクセスし、「アカウント通知書」に記載されている「Microsoft365アカウント」と「パスワード」を入力してログインしてください。



学務情報システムのログインページ <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/lcu-web/>

2 ログイン後、「menu」⇒「マイInfo」⇒「学生情報の詳細画面」へ進み、「メールアドレス1」、「電話番号」等を登録してください。

- 登録期日について所属学部から指示がある場合にはその指示に従ってください。
- メールアドレスは**自身がすぐに確認できる携帯電話等のアドレス**としてください。
- 手順が不明な場合はオンライン教育WEBサイトの以下の動画を参照してください。



<https://www.shizuoka.ac.jp/online-education/kogi-no-juko/>

## トラブルが発生した場合

1 Microsoft365の2要素認証がうまくいかない場合、その他不明な点がある場合  
⇒Microsoft365 2要素認証 設定案内サイトのFAQを参照してください。



[https://www.shizuoka.ac.jp/365/?page\\_id=69](https://www.shizuoka.ac.jp/365/?page_id=69)

⇒上記FAQを確認しても解決できない場合は、スマートフォンと学生証を持参のうえ、各キャンパスの情報基盤センター窓口(平日9時~17時)でお問い合わせください。

【情報基盤センター所在地】 [https://www.cii.shizuoka.ac.jp/?page\\_id=201](https://www.cii.shizuoka.ac.jp/?page_id=201)



静岡キャンパス 共通教育L棟1階  
浜松キャンパス 創造科学技術大学院棟 2階

2 静大ID※5が分からなくなった場合

⇒学生証を持参のうえ、各キャンパスの情報基盤センター窓口で確認してください。

※5 全学無線LAN(eduroam、WRL-SUCCE5-S3)への接続、情報基盤センター計算機実習室に設置されているPCにサインインする際に利用

3 アカウント通知書のパスワードが分からなくなった場合

⇒学生証を持参のうえ、各キャンパスの情報基盤センターパスワード再発行機で再発行してください。

※パスワードについては下記の静岡大学統合認証ポータルサイトもご参照ください。

<https://www.shizuoka.ac.jp/spo/パスワードについて/>



## オンライン授業について **重要**

オンライン授業に関する案内や詳細な操作方法は、静岡大学のオンライン教育のWebサイトで案内しています。**「静岡大学 オンライン教育」**で検索するか、以下のURLやQRコードからアクセスしてください。



<https://wwp.shizuoka.ac.jp/online-education/>

## オンライン授業で利用する ブラウザについて **重要**

主要なブラウザとして、Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefox等があります。ブラウザによって相性のよい環境、ソフトウェアがあります。利用環境や目的に応じて、適切なブラウザを選択できるようになりましょう。静岡大学のオンライン授業では、**Google Chrome**を利用した場合にトラブルが少ないようです。ダウンロードおよび利用方法は、各ブラウザ公式サイトからご確認ください。

# 1.オンライン授業について

## オンライン授業に関する心構え **重要**

静岡大学では、基本的には対面授業を実施しますが、授業におけるICTの効果的な活用を進める観点から、オンライン授業も適宜実施します。オンライン授業は、当該授業科目の時間割上の曜日・時限、もしくは授業担当教員が指定する期間に受講し、課題をため込まないようご注意ください。

また、オンライン授業では、電子メールや学務情報システムの「授業掲示板」等によって教員との質疑応答、他の受講生との議論、意見交換を行います。場合によっては、インターネット上のSNS等を利用して意見交換を行うこともあるかもしれませんが、SNSは利便性が高い一方で、トラブルも多いことを忘れてはいけません。下記URLより「SNS利用上の注意」をよく読んで、適切に利用しましょう。

[https://x.gd/sns\\_note](https://x.gd/sns_note)



## オンライン授業の基本的な考え方

オンライン授業の主な実施形態は以下の3つです。授業科目によっては、これら以外の授業形態により実施される場合がありますが、その場合には、当該授業科目の担当者の指示に従ってください。

### ①教材等配信型

授業担当教員による事前のガイダンス等により、教材等を読むに当たっての留意点や、必要な視点・観点等が示され、それらを踏まえて学習し、課題に取り組む。

### ②オンデマンド動画型授業

授業動画(ナレーション付きのパワーポイント動画等を含む。)をオンデマンドで視聴し、課題に取り組む。

### ③同時双方向型授業

WEB会議システム等を利用して同時双方向の授業を受講し、課題に取り組む。

## オンライン授業の学習の流れ ※各機能の利用方法(画面イメージ等)は後述します。

オンライン授業の内容や受講方法は、授業科目の担当者から学務情報システムの「授業連絡」等を用いて通知されます。どのような方法で学習を進めるかについては、授業科目の担当者の指示に従ってください。

このパンフレットでは、受講方法の例として、学務情報システムを用いて授業が実施される場合の学習の流れを紹介します。学務情報システムを用いてオンライン授業が実施される場合は、以下の①～③の流れで実施されます。

### ①授業の教材・課題の提示

授業内容が「連絡通知」から通知されます

### ②課題の提出

「課題・アンケート提出」機能の「レポート」、「小テスト」を利用して行われます

### ③毎回の授業の意見交換・質問対応

「授業掲示板」の機能を利用します

学務情報システムはパソコンによる利用を推奨しています。

## 授業動画(オンデマンド動画)の視聴方法

授業科目の担当者から指示がありますので、その指示に従ってください(例えば、担当者から通知された URL にアクセスして動画を視聴する場合や、Microsoft Teams を利用して動画を視聴する場合等があります)。指示された視聴方法分からない場合は、静岡大学のオンライン教育の Web サイトに掲載されている視聴方法をご参照ください。(Web サイトに掲載されていない視聴方法は、授業科目の担当者にお尋ねください)。

# トラブルへの対応と注意事項

よくあるトラブル・質問に対する対応・回答は、静岡大学のオンライン教育のWebサイト(FAQのページ)にまとめてあります。多くのトラブルは、FAQを参照することで解決することが出来ます。以下のURLやQRコードからアクセスしてください。

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/online-education/student-faq/>



## ①レポート等は提出期限に余裕をもって提出してください。

レポート等の締め切り直前はアクセスが集中し、学務情報システムのサーバへの負荷が高まることにより、同システムの動作遅延等が生じることがあります。レポート等は、期限に余裕を持って提出してください。

## ②学務情報システムの反応が悪い場合は時間をおいてください。

学務情報システムの反応が悪い場合は、時間をおいてから、再度、試してください。アクセスが分散されないと元の状態に戻りません。ひとりひとりのご協力をお願いします。不安定な状態が継続する場合は、大学のトップページ等で周知しますので確認をしてください。

## ③各種システムへのサインインに利用するアカウントやIDをよく確認してください。

**Microsoft365、学務情報システム** → 「**姓.名.26@shizuoka.ac.jp**」を利用します。

※プライベートで利用しているMicrosoft365アカウント、Microsoftアカウントがある場合、一度サインアウトしてから、静岡大学のMicrosoft365アカウントでサインインしてください。静岡大学のMicrosoft365アカウントでサインインしないと授業動画を再生することが出来ません。



## ①不正行為の扱いについて

論文やレポート等において、関連する著書や論文、インターネット上の情報を引用として明示することなく使用したり、他人が書いたレポートや著作物を自分のものとして提出したりする行為は、不正行為として厳正に処分します。また、レポート等の提出を代行する行為は、答案を見せた(課題を代行した)学生、答案を見せてもらった(課題を代行させた)学生の両名ともに、処分を受ける可能性があります。不正行為の事実が認められた場合は、懲戒処分が科されるとともに、教育的指導の観点から、不正行為を行った科目が「不可」となるだけでなく、当該学期の他の授業科目の内、「不可」以外の履修がすべて取り消される(通年科目を含む)こととなります。

## ②図書館の利用について

附属図書館では電子ジャーナルや商用データベースなどの電子リソースを提供しています。どのような電子リソースがあるかについては、附属図書館のWebサイトにある「学外から電子リソースを利用するには」で紹介しています(附属図書館Webサイトのトップページにある「資料をさがす」の中にあります)。

## ③教員から提示される教材について

教員から提示された動画を含む教材等を無断でSNSにアップロードすることや、私的利用の目的以外で複製することは、著作権法違反として罰せられることがありますので、絶対に行ってはいけません。

## ④Microsoft365やGoogleアカウントの使い分けについて

本学が提供しているMicrosoft365やGoogle等のアカウントは学修をサポートするためのものであり、プライベートで利用するアカウントとの使い分けを行ってください。これらのアカウントのOneDriveやGoogleドライブについては卒業後にデータがすべて削除されます。そのため私的なデータ保存には適していません。また、これらのアカウントの利用ログや、学内のネットワークを利用したインターネットの接続については、大学の管理者が(原理的に)アクセス情報を確認可能です。個人のプライバシーを守り、卒業後のトラブルを防ぐためにも、日頃から「大学用」と「プライベート用」のアカウントやネットワークを明確に使い分けるよう心がけてください。

## 2.授業の教材・課題の確認 学務情報システム「連絡通知」の利用

学務情報システムにログイン後、「menu→連絡通知」を選択または、ホーム画面「重要なお知らせ」より、「もっとみる」ボタンをクリックして「連絡一覧」を表示します。

**1 メニュー画面**

menu

- ホーム
- 連絡通知**
- スケジュール・学的
- 履修登録
- 授業・課題

どちらかを選択

**1 トップ画面**

LiveCampus II

タイムアウトまであと29分

ログアウト

重要なお知らせ

表示するコンテンツは許可せし

もっとみる

学籍目標

**2 連絡一覧**

連絡一覧

最新通知一覧です。タイムアウトします。お読みください。

キーワード

検索

目的

NOVA  学務のみ  学務のみ  連絡通知のみ

検索

検索結果

通知種別 (カテゴリ)	タイトル	所属科 学務単位・学部	通知日	通知日
メール	メール通知			2020/12/18
メール	メール通知			2020/12/18

連絡一覧より、詳細情報を確認したい連絡通知の行をクリックします。

**3**

通知種別 (カテゴリ)	タイトル	所属科 学務単位・学部	通知日	通知日
メール	メール通知			2020/12/18
メール	メール通知			2020/12/18
メール	メール通知			2020/12/18

**4 連絡詳細**

連絡詳細

学内連絡 1

通知種別: メール通知  
通知日: 2020/12/18

通知内容

内容: 学内連絡の件

送受信: 送受信済

通知日時: 今すぐ通知する: 2020/12/18 15:40

通知先

ファイル: 通知内容のファイル (PDF)

「連絡詳細画面」にて、選択した連絡通知の詳細が表示されます。

# 3.レポート・小テストの提出 学務情報システム「課題・アンケート提出」の利用

学務情報システムにログイン後、「menu→授業・課題→課題・アンケート提出」を選択  
あるいは、ホーム画面上部に表示されるナビゲートバナー「未提出課題」  
またはホーム画面下部「未提出課題」より、該当する課題の☑ ボタンをクリックして  
「課題・アンケートリスト」を表示します。

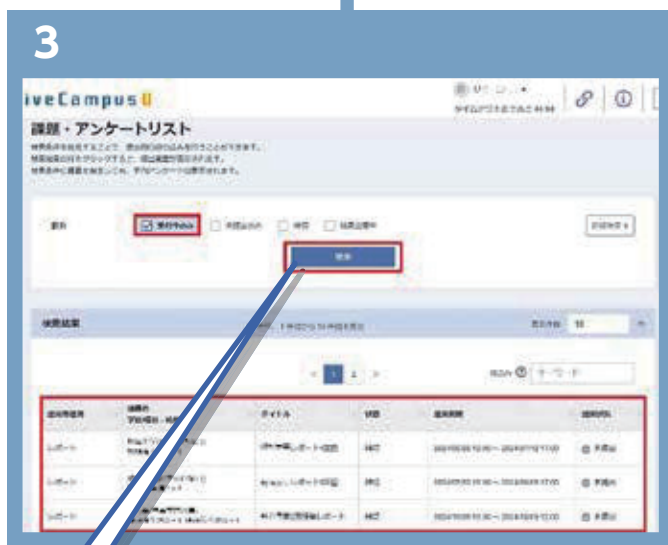


表示方法①②  
どちらかを選択

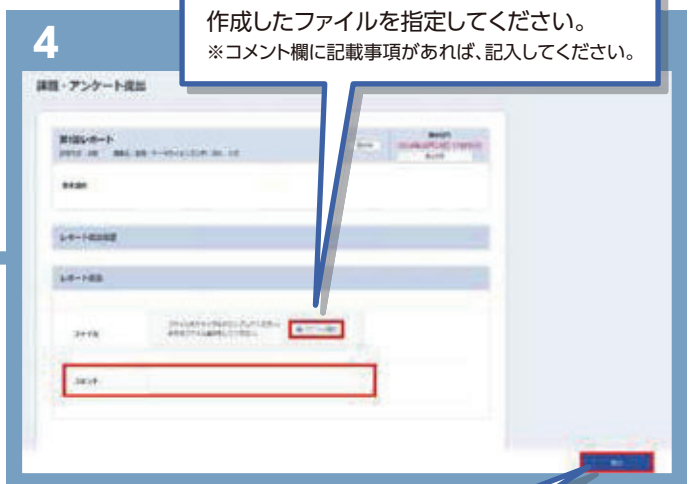


表示方法①  
ホーム画面上部のナビゲート  
バナーより、「未提出課題」を  
選択します。

表示方法②  
ホーム画面より、「未提出課題」一覧から  
未提出課題を選択します。  
※科目名の右☑未提出を選択します。



「受付中のみ」ボタンにチェックし、  
「検索」ボタンを選択してください。



「ファイル選択」ボタンを押して、  
作成したファイルを指定してください。  
※コメント欄に記載事項があれば、記入してください。

ファイルを指定後に  
「提出」ボタンを押せば完了です。

# 小テストへの解答

レポート課題の提出同様、該当する課題を選択します。

## 1 小テストの選択

## 2 小テストの解答

解答後に、「提出」ボタンを押せば完了です。

## 小テストの採点結果の確認

区分：「結果公開中」を選択すると、状態：結果公開中のみの小テストが表示されます。

小テストのタイトルを選択すると採点結果を確認できます。

- 採点結果公開後、参照可能です。
- 科目によって採点結果を公開しない場合もあります。



- 学務情報システムの「授業掲示板」や「小テスト」機能などで文章を書く場合、必ずWordやメモ帳で下書きを作成して保存してください。学務情報システムへは、その下書きをコピーし、貼り付けて送信してください。学務情報システムが不安定になった場合でも情報が残るため、再提出が可能になります。
- 授業によってはレポート・小テスト以外に、「授業アンケート」等の機能を利用することがありますが、これらの操作画面もレポート・小テスト機能同様に遷移する流れになります。

# 4.授業における意見交換および質疑応答 学務情報システム「コミュニケーション掲示板」の利用

## 【掲示板スレッドへの書き込み】

学務情報システムにログイン後、  
「menu→キャンパス Info→コミュニケーション掲示板」を選択または、  
トップページ下部「授業掲示板一覧」より、「もっとみる」ボタンをクリックします。

**1 メニュー画面**

**2 トップ画面**

「もっとみる」ボタンをクリックすると、  
掲示板スレッド一覧が表示されます。

**3 授業掲示板の選択**

**4 コメント一覧画面の表示**

↓下へスクロール↓

**5 コメントの入力**

他の学生が質問した内容やその回答も参照することができます。

コメント入力後に「登録」ボタンを押せば完了です。

⚠

- 投稿した内容は当該科目の受講生全員が閲覧可能となります。**不適切な書き込みをしないよう心掛けてください。**
- ニックネームの入力欄が表示されている場合、学生やチューターには投稿者の実名は表示されませんが、システムのログには記録されます(ニックネーム入力欄が無い場合は、学籍番号あるいは実名が表示されるよう担当教員が設定しています。)
- 質問や意見交換の際は丁寧な言葉遣いに心掛けてください。

# 5.オンライン授業の実際

## 「数理・データサイエンス入門」の受講案内

本学では2020年度入学生から、全学の学部1年生必修科目として「数理・データサイエンス入門」を開講しています。科目開設の主なコンセプトは、以下のような内容になります。

- (1) データを使った分析、人工知能の活用について、現代の社会において様々な業種で重要度が増している中、理系・文系を問わず大学生が身につけておくべき入門的な知識を学修する。
- (2) 各学部の専門分野に関する卒業研究等を遂行するにあたり求められる統計分析やデータ処理の手法について、1年次の段階で基礎的内容を俯瞰することで、データに応じた確かな方法を選択できるようにし、更に発展的な学修を進める足掛かりとなるようにする。

### 受講について

#### 【受講・動画配信】

- 本科目では対面授業を実施せず、「インターネット上の授業動画の視聴」に続き、「小テストへの解答」という流れで進行します。

#### 【Google Classroom】

- 「数理・データサイエンス入門」では、動画の視聴、小テストの提出等は、Google Classroom を用いて行います。担当教員から、授業の受講方法についての連絡がありますので、学務情報システムから送られてくる連絡の内容を確認してください。

<https://www.shizuoka.ac.jp/online-education/google-classroom-student>



- 本科目に関するその他の詳細は、以下の URL でお知らせしています。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/projects/mds-intro/>



- 本科目は、履修上限単位制度 (CAP 制) の適用対象外となります。

#### 【視聴期間】

- 2026年度前学期の動画視聴開始日は、12ページの「単元一覧及び視聴開始日等」をご参照ください。
- 授業動画は、複数の動画をひとまとめにして「第〇節」という形で配信されます。授業開始後、毎週新しい節の動画が公開され、全部で第8節まであります。
- 動画は各節の開始日以降、授業期間内において繰り返し視聴することが可能です。
- 動画視聴等の進行イメージは、下図のとおりです。

	学期1週	…	視聴1週	視聴2週	視聴3週	視聴4週	視聴5週	…	7月26日
第1節	アカウント配布等	動画配信開始→動画視聴							各再試小テストの締切日
		小テスト							
				採点公開					
						再試小テスト			
第2節		動画配信開始→動画視聴							
		小テスト							
				採点公開					
…							再試小テスト		

• 各節に対応する単元及び小テストの視聴開始日等は、12ページの「単元一覧及び視聴開始日等」をご参照ください。

## 評価方法

### 【小テスト】

- 各節の授業動画を見終わった後、対応する小テストに解答してください。
- 小テストの解答締切は、対応する節の視聴開始日から14日目(第1節は19日目)の日曜23:59までとなります。
- 解答締切の翌木曜までに、テストの採点結果が公開されます。60点未満又は解答していなかった学生は、翌月曜から開始される再試小テストに解答してください。
- 小テストで60点以上の学生も再試小テストに解答できます。成績評価には各節の小テストの合否結果のみが利用されますが、理解を深めるため、間違った問題がある場合には再チャレンジしてみてください。
- 再試小テストの解答締切は、全ての回について7月26日(日)23:59までとなります。
- 小テスト又は再試小テストで60点以上を取れなかった場合、その回の小テストは不合格扱いとなります。
- 小テストの解答締切の翌週に、各問の正誤と得点が公開されます。

### 【成績評価】

- 科目の成績評価は、「合・否」の2段階評価で採点され、GPA値の計算対象外となります。
- 以下の条件を全て満たした学生は、成績評価「合」として単位が与えられます。
  - (1) 全ての動画を視聴し、**全16回の小テスト又は再試小テストに解答する。**
  - (2) 全16回の小テスト又は再試小テストのうち**所定の回数で合格点を取る。**
- 科目の成績評価については、他の教養科目と同じく8月下旬頃に公開される予定です。

### 【再履修】

- **本科目は全学部1年生の必修科目です。成績評価が「否」になった場合は、後学期に再履修が必要ですので、後日出される掲示等の指示に従ってください。**

### 【「数理・データサイエンス」教育プログラム 修了認定について】

- 教養科目の必修科目「数理・データサイエンス入門」及び「情報処理・データサイエンス演習」を修得すると、自動的に本学の「数理・データサイエンス」教育プログラムの修了者となります。本プログラムでは紙媒体の修了証は発行しませんが、希望者にはデジタル修了証の一つである「オープンバッジ」を発行します。発行の詳細につきましては修了後にメール等で連絡しますので、確認してください。

## 質問回答と意見交換

本科目はフルオンラインでの実施にあたり、担当教員あるいはチューターによる質問回答や学生同士の意見交換ができる場を用意しています。詳細は、以下のURL(大学教育センター「数理・データサイエンス入門」)からご確認ください。変更があった場合も、以下のURLにて最新情報を掲載します。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/projects/mds-intro/>



### 【システム利用方法等の問い合わせ】

- 授業内容以外のシステム利用方法等の質問については、上記URLのページ最下段にあるメールフォームからお問合せください。

# 単元一覧及び視聴開始日等

## 視聴環境

- 動画の視聴環境は自宅PC等(スマートフォンでも視聴可能)も含めて、以下の方法があります。利用しやすい環境にて動画を視聴してください。
  - (1) 自宅のPC等で視聴する
  - (2) 学内(各学部の講義室棟等)でノートPC等をeduroam接続して視聴する  
(回線速度の観点からWRL-SUCCESSではなくeduroamからの接続を推奨します)
  - (3) 情報基盤センターの計算機実習室PCで視聴する(イヤホンは各自持参)
  - (4) 附属図書館の貸出用PCで視聴する(ヘッドホン貸出有り)

## その他

- 小テストの解答を他の学生から聞くこと、または他の学生に教えたり公開したりすることは不正行為とみなされます。**不正行為が確認された場合、当該学期の全科目の単位が取消される等の厳しい措置が取られます。**
- オンライン提供されている授業動画や小テスト等のコンテンツを、無断で学外に公開・配布することを禁じます。
- 出演講師の所属は撮影時のものです。

## 単元一覧及び視聴開始日等

【導入】「イントロダクション」(学長) / 視聴開始：4月20日(月)

### 第1節

視聴開始：5月7日(木) / 小テスト解答締切：5月24日(日) / 小テスト結果公開：5月28日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
1.1	ビックデータとAI	荒木 由布子、山本 泰生(情報学部)	第1回
1.2	医療診断1	石原 顕紀(理学部)	
1.3	医療診断2	石原 顕紀(理学部)	
1.4	画像認識	大橋 剛介(工学部)	
1.5	音声認識	甲斐 充彦(工学部)	
1.6	生成AI	坂本 孝文(大学教育センター)	

### 第2節

視聴開始：5月18日(月) / 小テスト解答締切：5月31日(日) / 小テスト結果公開：6月4日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
2.1	アナログとデジタル	堀池 徳祐(農学部)	第2回
2.2	アナログデータからデジタルデータへの変換1	堀池 徳祐(農学部)	
2.3	アナログデータからデジタルデータへの変換2	堀池 徳祐(農学部)	
2.4	文字コード	堀池 徳祐(農学部)	
2.5	プログラミングの概要1	室伏 春樹(教育学部)	第3回
2.6	プログラミングの概要2	室伏 春樹(教育学部)	

## 第3節

視聴開始：5月25日(月)／小テスト解答締切：6月7日(日)／小テスト結果公開：6月11日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
3.1	プログラミング環境	坂本 孝文(大学教育センター)	第4回
3.2	データ処理に用いられる言語	坂本 孝文(大学教育センター)	
3.3	プログラミングによるデータ処理1	坂本 孝文(大学教育センター)	
3.4	プログラミングによるデータ処理2	坂本 孝文(大学教育センター)	第5回
3.5	プログラミング活用事例1	新谷 誠(情報学部)	

## 第4節

視聴開始：6月1日(月)／小テスト解答締切：6月14日(日)／小テスト結果公開：6月18日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
4.1	尺度水準	堀池 徳祐(農学部)	第6回
4.2	代表値1	佐藤 一憲(工学部)	
4.3	代表値2	佐藤 一憲(工学部)	
4.4	データの可視化1	堀池 徳祐(農学部)	第7回
4.5	データの可視化2	柴垣 裕司(農学部)	
4.6	データの可視化3	関口 勝夫・坂本 孝文(大学教育センター)	
4.7	データの可視化4	関口 勝夫・坂本 孝文(大学教育センター)	

## 第5節

視聴開始：6月8日(月)／小テスト解答締切：6月21日(日)／小テスト結果公開：6月25日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
5.1	相関係数	関根 理香(理学部)	第8回
5.2	回帰直線	関根 理香(理学部)	
5.3	相関関係と因果関係	竹内 浩昭(理学部)	
5.4	回帰分析	高瀬 浩二(人文社会科学部)	第9回
5.5	主成分分析	鈴木 拓也(人文社会科学部)	
5.6	クラスター分析	鈴木 拓也(人文社会科学部)	

## 第6節

視聴開始：6月15日(月)／小テスト解答締切：6月28日(日)／小テスト結果公開：7月2日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
6.1	確率と確率変数	河合 信之輔(理学部)	第10回
6.2	確率分布と期待値	河合 信之輔(理学部)	
6.3	確率と確率分布	松本 敏隆(理学部)	
6.4	母集団、標本、無作為抽出	吉田 崇(人文社会科学部)	第11回
6.5	有意差検定	高瀬 浩二(人文社会科学部)	
6.6	様々な検定手法の紹介	橋本 剛(人文社会科学部)	

## 第7節

視聴開始：6月22日(月)／小テスト解答締切：7月5日(日)／小テスト結果公開：7月9日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
7.1	人工社会シミュレーション	一ノ瀬 元喜(工学部)	第12回
7.2	行政データの活用	上藤 一郎(人文社会科学部)	
7.3	動画解析に基づく映像生成技術	岡部 誠(工学部)	
7.4	ロボットの動作生成と行動学習	小林 祐一(工学部)	第13回
7.5	数理モデルと統計モデル	上藤 一郎(人文社会科学部)	
7.6	自然言語処理	狩野 芳伸(情報学部)	
7.7	生成AIの利用	坂本 孝文(大学教育センター)	

## 第8節

視聴開始：6月29日(月)／小テスト解答締切：7月12日(日)／小テスト結果公開：7月16日(木)

No.	単元タイトル	出演講師	小テスト
8.1	データの収集、データの保存、前処理1	山本 祐輔(情報学部)	第14回
8.2	データの前処理2、分析手法の選択	山本 祐輔(情報学部)	
8.3	個人情報保護法	原田 伸一郎(情報学部)	第15回
8.4	データの取り扱いに関する注意	原田 伸一郎(情報学部)	
8.5	情報セキュリティ	大木 哲史(情報学部)	
8.6	情報の信頼性	塩田 真吾(教育学部)	第16回
8.7	改竄	中村 美智太郎(教育学部)	
8.8	再現性、チャンピオンデータ	中村 美智太郎(教育学部)	

【補足動画】視聴開始：4月20日(月)

PPDACサイクル 坂本 孝文(創造科学技術大学院・大学教育センター)

機械学習とは?① 坂本 孝文(創造科学技術大学院・大学教育センター)

機械学習とは?② 坂本 孝文(創造科学技術大学院・大学教育センター)

※各動画の長さは単元により異なりますが、概ね10分前後となります。

※第1節は他の節よりも視聴期間が長めに設定されています。

※「小テスト結果公開」については、採点作業が完了し次第、上記日付より早く公開される場合もあります。

※上記の日程等に変更が出た場合は、一斉メールと大学教育センターWEBサイトにて案内します。

「数理・データサイエンス入門」監修

小西 達裕(監修主担当、情報学部)

坂本 孝文(大学教育センター)

須藤 智(グローバル共創科学部／大学教育センター)

関口 勝夫(大学教育センター)

滑田 明暢(大学教育センター) ※主担当を除き五十音順



国立大学法人

静岡大学

大学教育センター